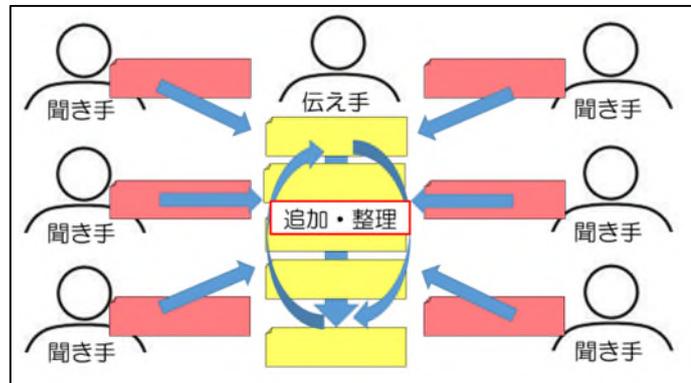


## 実践記録 (小6・総合的な学習の時間)

1 **ねらい** 意見交流を通して、友達と考えを共有し、自分の考えを深めることができる。

### 2 手立て

付箋紙を使って意見交流を行う。まず、子どもたちはグループでアンプラグドカードに取り組む。このとき伝え手は、伝えたい内容について事前に黄色の付箋紙に記入させる。そして、課題内容に対して答え合わせをさせた後に、3・4人グループで足りない情報を赤色の付箋紙に書かせる。書いた内容を提示するときには、その情報が必要な理由を発表させる。自分の考えだけでなく、友達のを得る中で、伝える順序立てを行うことで、伝え方に対する自分の考えをより深めていく。

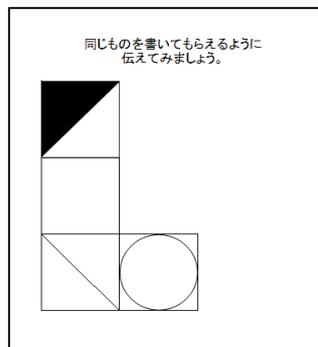


【ワークシートでの交流イメージ】

### 3 実践の様子

伝え手がアンプラグドカードに書かれていることを伝えるために、必要な情報を付箋紙に書き込み自分の考えを整理した。発表終了後、各グループに分かれ、友達から必要であった考えを得たり、友達とともに伝える順番を整理したことで、伝え方に対して考えを深めたりした。

また、グループでの活動内容を全体で共有することで、伝える内容には、順序が重要であり、場合によっては繰り返し同じ内容を伝えるとよいことに気付くことができた。「伝える」ということについて今まで意識していなかった子どもたちが友達と考えを出し合うことで自分の考えを深めることができた。また、番組 (NHK for school「しまった!」) を視聴したことで、伝えるためのポイントを確認することができた。



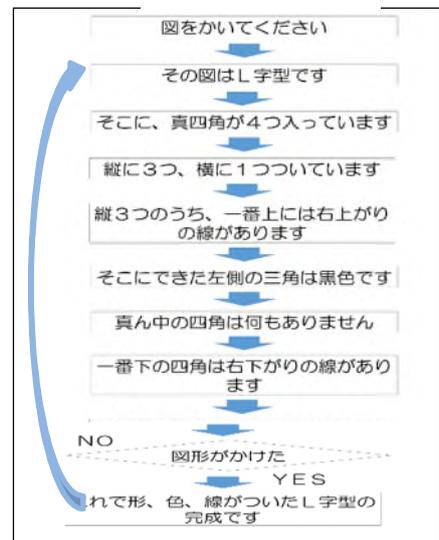
【アンプラグドカード】



【視聴した番組】

### 4 成果と課題

- 自分の考えに対して友達の考えが追加されたり、自分の伝え方が整理されたりすることで、考えに自信をもつ姿が見られた。
- 付箋紙を使って意見交流を行うことで、効率的よく活動することができた。
- 発言はできたが、意見を書くことに時間が掛かり、意見交流が進まないグループがあった。



【共有して完成した伝え方】